

ベジタブルプレイス 山本哲也



「安心安全な京野菜をもっと身近に」をスローガンに営農している、ベジタブルプレイス代表の山本哲也（やまもと てつや）です。よろしくお願いします！

敷地内には直売所もあり、当園自慢の野菜がズラリと並んでおります！



ベジタブルプレイスは京都府綾部市の上八田町にあります。大変自然豊かな地域で、時間が止まったかのように落ち着いて暮らすことができます。



品目：万とう、ミニトマト、えびいも、花菜、紫ずきん、黒大豆、その他季節野菜

面積：1.5 ha、うちハウス12棟（万とう9棟、ミニトマト2棟、作業場1棟）

作業：野菜管理、収穫、出荷

ベジタブルプレイスでは、家族3人とパートさん4名の基本7名で、臨時的に福祉事業所などにも来ていただいて、運営しています。



ベジタブルプレイスでは、特産野菜の技術継承、環境に優しい農業、食育や農福連携など色々なことに積極的にチャレンジしています。

観光農園として収穫体験も行っており、大人から子供まで楽しめる農園を目指しています。

ベジタブルプレイスでは農業を通じて人間的な成長を遂げることも目指しています。従業員一同、日々の作業の中で体を動かし栽培管理をこなすうちに、自然と心技体が磨かれ健康に暮らすことが出来ればいいなと思っています。



私は京都府立農業大学校の出身で、農業大学校で2年間農業の基礎技術について学んだ後、京都府担い手養成実践農場制度の研修を2年間経て、H30(2018)年に就農しました。

現在は就農6年目になり、日々万願寺とうがらしの栽培管理や地域の集落営農組織の作業に奔走しています。万願寺とうがらしは6月から8月までが出荷のピークですが、収穫作業は規格を確認しながら行くと、規模が大きいことからピーク時は常に人手が不足しています。農福連携で福祉作業所に収穫作業を委託することもあり、労働力は確保できつつありますが、自分の右腕となって農場を切り盛りしてくれる方は育成できておらず、今後右腕候補となる方と巡り合うことができればと思っています。

このシートを通じて、農作業体験をしたい人から研修希望者まで、色んな人と関わることができれば嬉しいです。

